

JAグループ鳥取 自己改革の実現に向けた特別決議 ～JA自己改革取組宣言～

「組合員とともに農業・地域の未来を拓く」
～夢のある元気な鳥取県農業・地域をめざして～

これまでも、これからも、総合事業を通じて組合員・地域に貢献します

JAは、農業者（正組合員）と地域農業の応援団（准組合員）で組織され、組合員一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、これまで農産物の販売や信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）等の様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じ、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んできました。

また、時代の変化に併せたJA自己改革に取り組み、組合員・地域に寄り添いながら発展してきました。

JA鳥取いなばは、これからも「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けるために、『「組合員とともに農業・地域の未来を拓く」～夢のある元気な鳥取県農業・地域をめざして～』をスローガンに、以下の3つのあるべき姿の実現に向け、組合員、JA役職員のみならず地域と連携し、JA自己改革に邁進していきます。

1. 持続可能な鳥取県農業の実現を目指します

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けて、様々な事業における訪問活動での意見・ニーズの収集等、総合事業だからこそできる農業者支援を展開することで、生産基盤の強化や儲かる農業の実現を目指します。

2. 地域社会への貢献に取り組めます

「地域の活性化」に向けて、組合員との接点の最前線であるJA施設を中心とした総合事業機能の展開や農を通じた地域貢献活動に取り組めます。

3. 協同組合としての役割発揮に尽力します

協同組合の理解促進と理念醸成に取り組むことで協同組合運動の仲間づくりに努めます。そして、准組合員を地域農業の応援団と位置付ける等、「組合員のアクティブ・メンバーシップの確立」に向け、全ての組合員の皆さんへ出向き、対話を大切にした総合事業を展開する等、組合員、地域に寄り添った組織としての役割を發揮します。

以上、JA自己改革に取り組むことを宣言する。

平成31年4月24日

鳥取いなば農業協同組合 第24回通常総代会

J A鳥取いなば J A自己改革の取り組みについて

I. はじめに

- ① J Aグループ鳥取は2018年11月に第49回 J A鳥取県大会を開催し、第48回大会を総括するとともに、大会決議（J A自己改革）に沿って、2019年度から2021年度を J A自己改革実践期間として取り組むこととなりました。

第48回 J A鳥取県大会スローガン	「食と農を通じて農業・地域を豊かに」 ～10年後に向けた農業・地域づくり～
実践に向けた3つの柱	○持続可能な鳥取県農業の実現 ○地域社会への貢献 ○協同組合としての役割発揮
3つの基本目標	①農業者の所得増大 ②農業生産の拡大 ③地域の活性化



第49回 J A鳥取県大会スローガン	「組合員とともに農業・地域の未来を拓く」 ～夢のある元気な鳥取県農業・地域をめざして～
実践に向けた3つの柱	○持続可能な鳥取県農業の実現 ○地域社会への貢献 ○協同組合としての役割発揮
4つの基本目標	①農業者の所得増大 ②農業生産の拡大 ③地域の活性化 ④組合員のアクティブ・メンバーシップの確立

- ② J A鳥取いなばでは、大会決議（J A自己改革）に基づき「実践工程表」を策定し、その中でも特に組合として重点を置いている項目等を「重点取組施策」と設定し、組合員の皆さんの意見を聞きながら着実に実践し、評価されつづける J Aを目指していきます。

II. 第48回 J A鳥取県大会決議（J A自己改革）の実践結果（2016～2018年度）について<総括>

- ① J A鳥取いなばでは、「持続可能な鳥取県農業の実現」向け、以下のことに取り組みました。
1. 鳥取県ブランドとしての販売戦略の構築（GI取得）
 2. 専門性の高い営農指導体制の整備（J A営農指導員養成）
- ② J A鳥取いなばでは、「地域社会への貢献」に向け、以下のことに取り組みました。
1. 意思結集への仕組みづくり（J A施設を中心とした協同活動）
 2. 食農教育活動の強化（学校現場での体験活動）
- ③ J A鳥取いなばでは、「協同組合としての役割発揮」に向け、以下のことに取り組みました。
1. 協同組合理念の醸成・共有（准組合員向け情報発信）

※具体的な内容は別冊資料のとおり

Ⅲ. 第49回JA鳥取県大会決議（JA自己改革）の取り組み（2019～2021年度）について<計画>

I. 持続可能な鳥取県農業の実現

1. 農業生産基盤の維持・強化
 - (1) 後継者・新規就農者等新たな担い手の確保・育成
 - (2) 集落営農組織等による農地の維持・活用
2. 農業生産力・所得増大への取り組み
 - (1) 各品目における生産力の強化
 - (2) 直売所における販売力強化への取り組み
 - (3) 選ばれる鳥取県ブランドの展開
 - (4) 新たな価値の創出と海外展開への挑戦
 - (5) トータルコストの削減への挑戦
 - (6) 労働力の確保
3. 様々な担い手に対応した支援・営農指導の実践
 - (1) 様々な担い手への支援強化
 - (2) 営農指導の充実に向けた職員教育の実施

Ⅱ. 地域社会への貢献

1. 生活基盤の維持・強化
 - (1) 地域を支える活動の充実
2. 地域活性化につながるJA活動の充実
 - (1) 農を通じた食・環境への理解促進
 - (2) 総合事業機能をいかした活動の展開

Ⅲ. 協同組合としての役割発揮

1. 協同組合の理解と理念の醸成に向けた取り組み強化
 - (1) 協同組合の理解促進への取り組み展開
 - (2) 協同組合理念のさらなる醸成
2. 組織・経営基盤の強化
 - (1) 組織基盤の強化
 - (2) 経営基盤の強化
 - (3) 将来を担う人づくりと働き方改革
3. 県1JA構想の必要性の検討

☆JA鳥取いなばでは、第49回大会決議項目実践を通じてJA自己改革に取り組みます。

☆具体的な取り組みは、今後、広報誌で情報発信していきます。